



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.719 2024.5.15

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

赤羽駅
周辺地区
まちづくり

「中間報告」公表前に 住民の声を聞く場を



要請書を担当者に手渡す住民団体の代表ら

13日、2つの住民団体が、山田区長に「赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画『中間報告』」を公表する前に地域住民の意見を聴取することを求める要請書」を提出しました。(のの山けん)

申し入れを行ったのは、やさしいまちをつくる会きたくと住民本位の赤羽まちづくりを進める会の代表ら7人。現在、北区では、赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画の策定作業が続けられており、14日開催の第5回策定検討会ではシナリオ1から5までの「総合的な評価」を付した基本

計画「中間報告」が確認される予定となっていました。

本来なら赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会が「まちづくり提案」をまとめ、検討会に報告することになっていましたが、昨年9月の協議会総会で提案が否決され、その後、協議会の活動は休止状態に陥っています。

団体代表らは、「このままでは、多くの地域住民の声を反映する機会のないまま、『中間報告』による『評価』が確定してしまう」として、今回の要請となりました。

また、この4月に施行された「北区子ども権利と幸せに関する条例」に基づき、対象地域の子どもの声を聞くよう求めました。

赤羽一丁目市街地再開発

「第一地区」事業計画説明会

赤羽一丁目第一地区市街地再開発組合は9日、赤羽会館で「赤羽一丁目第一地区第一種市街地再開発事業に係る説明会」を開催しました。建設される再開発ビルは、地上26階、高さ約108m、1階から3階までが店舗で、4階以上が約269戸の分譲マンションとなります。

参加者からは、風害や日照への影響、国と区から約75億円の税金が投入されることなどについて、心配の声が出されました。(のの山けん)



事務局(北区)提案の基本計画「中間報告」案

検討会で合意に至らず

●想定される基本計画策定スケジュール

2023年	7月 第1回検討会
	10月 第2回検討会
	12月 第3回検討会
2024年	3月 第4回検討会
	5月 第5回検討会 第6回検討会?
	「中間報告」公表?
	「中間報告」説明会?
	基本計画(案)決定 パブリックコメント
2025年	3月 基本計画策定

14日、第5回赤羽駅周辺地区まちづくり基本計画策定検討会が開かれ、基本計画「中間報告」案が事務局(北区)より提案されましたが、検討委員から「点数をつけ、シナリオを絞り込むとは聞いていない」、「自分たちのまちを○×△で評価するのはいたたまれず、納得がいかない」などの意見が続出し、最終的に合意には至りませんでした。(のの山けん)

検討会では冒頭、会長から、「これまで5つのシナリオ、7案についてミッシュンごとの検討を行ってきたが、いよいよ絞り込みを行う重要局面に入った」との表明があり、事務局から各シナリオについてミッシュンごとに細かく点数をつけ、最終的にA(優れている)、B(一定の評価ができる)、C(改善が必要)のランクづけを行った中間報告案が提案されました。これに対し、検討の

事務局案を検討する余裕もない

進め方について委員からの意見が相次ぎました。ある委員は「今回のやり方は乱暴ではないか。事務局案が送られてきたのは大型連休前、意見シートが届いたのは約一週間前で、じっくり検討する時間も、意見を書く時間もなかった。これでは事務局が勝手に評価したと言われても仕方がないのではないか」と指摘、

事務局も「時間が短かったことは、申し訳ない」と述べました。その後、事務局から配点基準などの報告を受け、各委員が意見を表明。「学校とマンションを一体化するのはいかがなものか。十条駅前に来た39階建マンションは異様な光景」、「景観や文化、歴史の観点での評価も必要ではないか」、「商店街は赤羽の顔であり、もっと評価しても良いのでは」などの意見が出されました。

「中間報告」決定前に、再度検討会を

最後に会長から、「このまま進めるわけにはいかないのです、仕切り直しをして、『中間報告』決定前に、もう一度検討会を開くことにしたい」との表明がありました。